



大いちょう

平成28年12月 1日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.8

048 (829) 2737

努力と成功

校長 石山 大介

やはり師走に入っただけのことはあって、ぐっと寒くなってきました。この冬は昨年の暖かい冬とは違って例年のような寒い冬になるようです。一週間程前には、観測史上64年振りの降雪がありました。積雪としての記録は100年以上も無かったそうです。

さて先日、2020年に開催される東京オリンピックの組織委員会事務局長を務める武藤敏郎さんという方のお話を聞く機会がありました。武藤さんはさいたま市浦和区のご出身です。

武藤さんはそのお話の中で「オリンピックで最も重要なことは、勝つことでなく参加することである」という有名な言葉を紹介されました。高学年の皆さんはどこかで耳にしたことがあると思います。近代オリンピックの父と言われているフランス人、クーベルタン男爵の言葉だとされています。

戦争が絶えない当時、スポーツをとおして勝ち負けに関係なく、国境を超えて世界の人々が交流することの大切さを訴えたのです。だからオリンピックは「平和の祭典」と言われるのです。

また、「人生にとって最も大切なことは、成功することではなく努力し続けることだ」ということもこの男爵が述べたそうです。

ぐうぜん成功する、たまたま上手くいくこともあります。その力は本物ではありません。成功は努力の先にあるものです。また、成功したからといってそこで努力を止めてしまえば、それで終わりになってしまいます。

少しずつ少しずつ努力を積み重ねる。努力は、自分への、自分の将来への貯金ですね。

毎日一円でも十円でも続ける。大事に貯めたお金は、大事にしてきたものだからこそ、いざ使おうと思った時に、無駄遣いできなくなってさらに大事にする。

そうやって本物の力が積み重ねられていきます。続けることは努力の条件です。

人がひたむきに努力したり頑張ったりしている姿はとても美しいと感じます。誰から見てもそうです。11月に行われた持久走でも、走る時の速さではなく、過去の自分の記録を超えるために皆さんは授業の中で努力しました。記録会の本番で頑張っている皆さんの姿は、全員が美しかったです。努力は人を裏切ることはありません。

努力という貯金、していますか。

申（さる）年の締めくくりの師走（12月）を迎えました。児童の皆さん、忘れ物はありませんか。この申年が始まった今年の1月、皆さんはお正月を迎え、今年の目標を立てたと思いますが、忘れていませんか。もし忘れていたら、終業式までの3週間で少しでも取り戻してください。締めくくりに相応しい生活をお願いします。

地域、保護者の皆様、お陰様をもちまして第2学期を無事に終えることができます。ありがとうございました。どのご家庭におかれましても、ご家族が無事に年末を過ごされ、よき新年を迎えられますことをお祈りいたします。

子どもの巻き込まれる事件・事故が後を絶ちません。ご家庭での指導を宜しく申し上げます。